

取扱説明書

用途

【角のみとして】

●角穴、ほぞ穴、欠き込み加工など

【木工用ボール盤として】（市販のキリ使用）

●木材の穴あけ ●木材の座掘り

【ドリルとして】（市販のキリ使用）

●木材の穴あけ ●金属の穴あけ

日立 造作角のみ

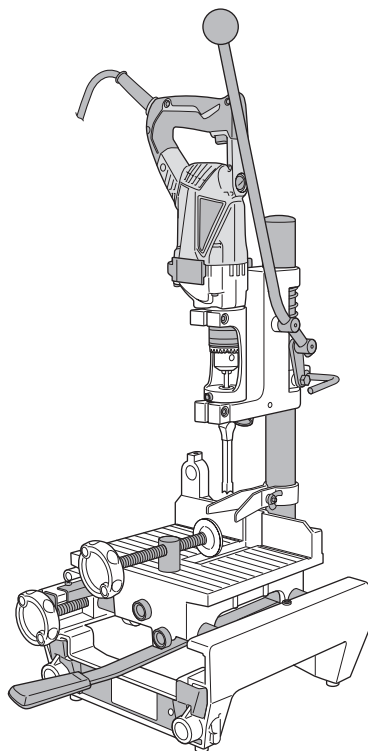
15mm BS 15Y(S)【ドリル付き】

15mm BS 15Y

このたびは日立造作角のみをお買い上げいただき、
ありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に
保管してご利用ください。



電動工具の安全上のご注意	1
二重絶縁について	4
本製品の使用上のご注意	4
木工用電気ドリルとして使用する場合のご注意	7
各部の名称	9
仕様	10
標準付属品	11
別売部品	11

はじめに

ご使用前の準備	12
ご使用前の点検	13
スイッチの操作について	14
スライドテーブルの調整	14
角のみ、キリの取付け・取りはずし	15
角穴をあける	17
ボール盤として穴をあける	21
木工用電気ドリルとして穴をあける	23

使い方

保守・点検	27
ご修理のときは	裏表紙

その他

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠警告**」、「**⚠注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「**⚠注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① 作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② 作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ 感電に注意してください。**
 - 電動工具を使用中、身体を、アース(接地)されているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- ④ 子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑥ 無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

警告

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。

- 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- 屋外で作業する場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。

⑨ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。

- 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。

- 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 使用しない、または修理する場合。
- 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。

警告


- ⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑪ 不意な始動は避けてください。**
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑫ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。**
- 屋外で延長コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。
- ⑬ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。**
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - 常識を働かせてください。
 - 疲れているときは、使用しないでください。
- ⑭ 損傷した部品がないか点検してください。**
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
 - スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ⑮ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
- ⑯ 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。**
- この電動工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに依頼してください。ご自分で修理しますと、事故やけがの原因になります。

○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

二重絶縁について

電気の流れる所と外観部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されていることを言います。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されていて感電しにくくなっています。

本製品で使用する木工用電気ドリル【DW 30】は二重絶縁構造であり、銘板に  マークで表示してあります。異なった部品と交換したり、間違って組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。

電気システムの分解、組立や部品の交換はお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに依頼してください。

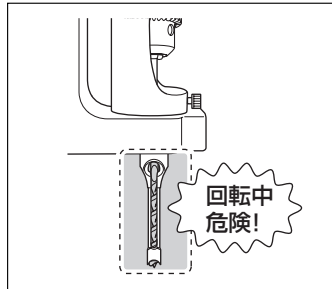
本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、造作角のみとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

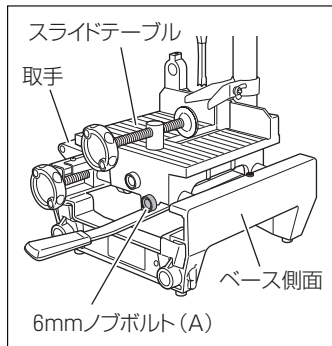
警告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - 表示を超える電圧で使用すると、速度が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② キリの回転中は角のみ、特に切りくず吐出口と刃先には手を近づけないでください。
 - 回転中のキリでけがをする原因となります。
- ③ 本機を持ち運ぶときは、必ず 6 mm ノブボルト (A) を締めて長手方向の動きを固定してください。
 - 運搬中にスライドテーブル部が移動し、手をはさまれ、けがをする原因となります。
- ④ 刃物の取付け、取りはずしのとき、取扱いには十分注意してください。
 - 能率よく作業ができるよう、刃物は鋭い切れ味に仕上げられています。
 - 刃物でけがをしないよう十分注意してください。
- ⑤ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - けがの原因になります。

②



④



警告

- ⑥ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。
 - そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑦ 誤って落としたり、ぶつけたときは、刃物や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑧ 回転するキリでコードを切断しないよう注意してください。
 - 切断したとき、感電の恐れがあります。

⚠ 注意

- ① 工具類や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 作業中は、ヘルメット、安全靴を着用してください。
- ③ 角のみ、キリはまめに刃とぎをしてください。
 - 切れ味の悪い角のみ、キリはモーターおよび機体に無理をかけ、能率も悪くなります。
- ④ 木材に釘などの異物のないことを確かめてください。
 - 角のみやキリを破損します。
- ⑤ 穴あけ作業はキリスイッチを入れた後、キリの回転が完全に上がって安定してからにしてください。
 - キリの回転が完全に上がらないうちに穴あけ作業をすると、キリが加工材に食い込みキリの回転が停止します。これにともなってモーターに無理な力がかかり、故障の原因になります。
- ⑥ 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ⑦ 穴あけ直後のキリや切りくずは高温になっているので、触れないでください。
 - やけどの原因になります。
- ⑧ 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っ掛けたりしないでください。
 - 材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。

木工用電気ドリルとして使用する場合がございます

本製品は、造作角のみからドリルをはずして、木工用電気ドリルとしても使用できます。先に電動工具としての共通の注意事項と、造作角のみとしての注意事項を述べましたが、木工用電気ドリルとして使用する場合、さらに次に述べる注意事項も守ってください。

警告

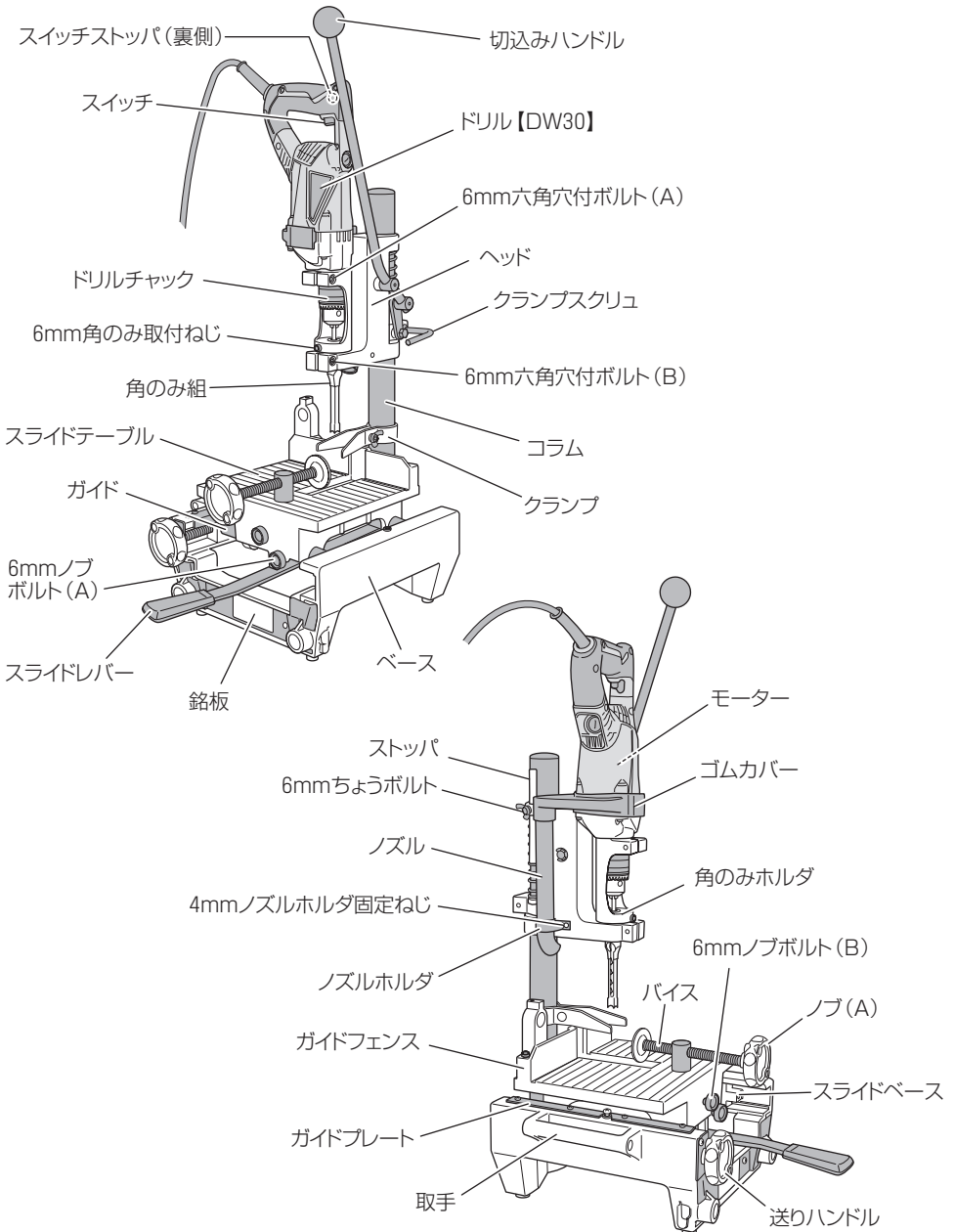
- ① 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - 埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ② 使用中は、振り回されないようにサイドハンドルを付け、機体を両手で確実に保持してください。
 - 確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ③ 使用中は、工具類に手や顔などを近づけないでください。
 - けがの原因になります。
- ④ シリカや石綿は人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。

注意

- ① ねじやボルトなどの締付け作業には使用しないでください。
 - 製品の損傷を生じるだけでなく、けがの原因になります。

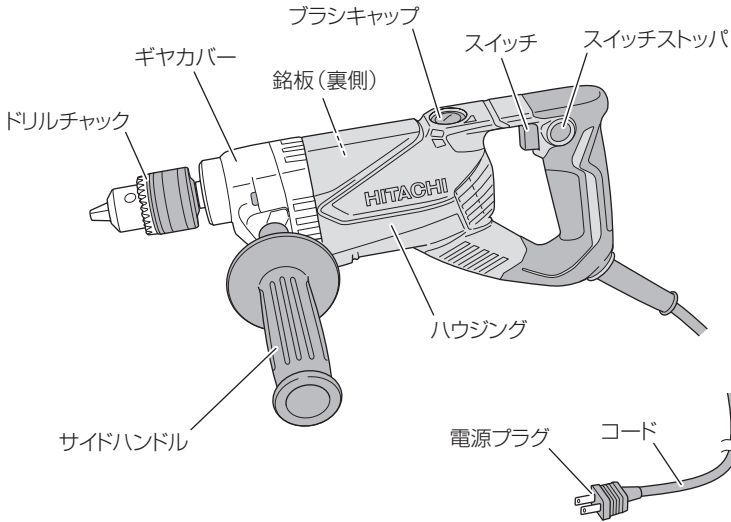
各部の名称

工具本体



ドリルを本体から取りはずした状態：木工用電気ドリル【DW 30】

二重絶縁


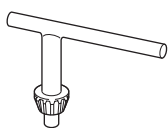
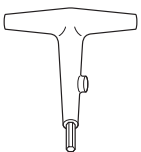
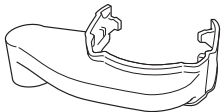
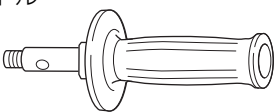


仕 様

形 名	BS 15 Y	
使 用 電 源	単相交流 50 / 60 Hz 共用 電圧 100 V	
能 力	被削材寸法(幅)	最大 125 mm (4 寸)
	角 穴	最大 15 mm角 (5 分角)
	穴 あ け 深 さ	最大 62 mm角 (2 寸) [9.5 mm ~ 15 mm角のみ組使用时]
	木 工 キ リ	穴径 36 mm
	鉄 工 キ リ	穴径 13 mm 注1
	座 掘 り	穴径 40 mm
	テーブル移動量	左右方向 92 mm (3 寸) 前後方向 67 mm (2 寸)
ドリルチャック	把握径 1.5 ~ 13 mm	
無 負 荷 回 転 数	1200 min ⁻¹ { 回/分 }	
全 負 荷 電 流	9.0 A	
消 費 電 力	860 W	
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター (木工用電気ドリル DW 30)	
機 体 寸 法	幅 340 mm × 奥行 474 mm × 高さ 609 mm	
質 量	15 kg (コード除く)	
コ ー ド	2心キャブタイヤコード 5.0 m	

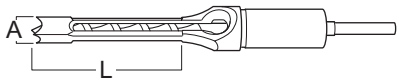
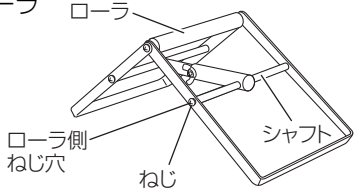
注1：鉄工キリは、ドリル単体で使用時のみ、使用可です。

標準付属品

品名	
9.5 mm角のみ組 (キリと角のみ) 	チャックハンドル 
六角棒スパナ 	ゴムカバー (本体装着) 
サイドハンドル 	

別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください)

詳しくは、お買い求めの販売店または日立工機の全国営業拠点(裏表紙)にお問い合わせください。

品名																					
角のみ組 (キリと角のみ) ※角穴の大きさにより5種類あります。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">サイズ (mm)</th> <th colspan="2">寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>L</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6.4 (2分1厘)</td> <td>6.4</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>8 (2分6厘)</td> <td>8</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>9.5 (3分2厘)</td> <td>9.5</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>12.7 (4分2厘)</td> <td>12.7</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>15 (5分)</td> <td>15</td> <td>79</td> </tr> </tbody> </table>	サイズ (mm)	寸法 (mm)		A	L	6.4 (2分1厘)	6.4	46	8 (2分6厘)	8	53	9.5 (3分2厘)	9.5	69	12.7 (4分2厘)	12.7	79	15 (5分)	15	79
サイズ (mm)	寸法 (mm)																				
	A	L																			
6.4 (2分1厘)	6.4	46																			
8 (2分6厘)	8	53																			
9.5 (3分2厘)	9.5	69																			
12.7 (4分2厘)	12.7	79																			
15 (5分)	15	79																			
補助ローラ 	使用時は、シャフト(2本)をローラ側に組替えてください。 組替えはシャフト固定用ねじ4本をはずし、シャフトをローラ側ねじ穴部にねじで固定してください。																				

ご使用前の準備

●作業場は整頓をし、明るくしてお使いください

●漏電しゃ断器の設置

本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

●延長コードを使う場合

電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。

右表は使用できるコードの太さ(導体公称断面積)と、最大の長さです。

コードの太さ (mm ²)	最大の長さ (m)
1.25	15
2	25
3.5	45

ご使用前の点検

⚠ 警告

使用前に次のことを確認してください。手順①～③については、電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

1 スイッチが切れていることを確かめる

- スイッチが入っているのを知らずに電源プラグをコンセントにさし込むと、不意に機体が起動し、思わぬ事故のもとになります。
- スイッチストッパが押されたままになっていないか、一度スイッチを引き、はなしたときスイッチが戻ることを必ず確認してください。(P 14「スイッチの操作」参照)

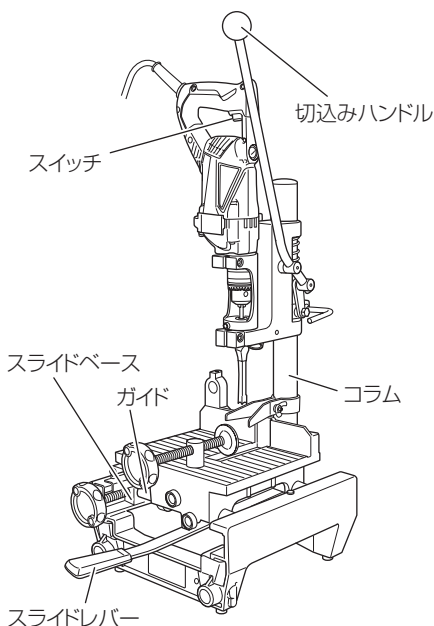
2 電源を確かめる

- 必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり、キリや機体が破損する恐れがあります。
- 直流電流で使用しないでください。機体の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

3 注油する

作業前には、必ず次の個所にマシン油を塗ってください。

- ① スライドベースの摺動部、各部のねじ摺動部
- ② コラムおよびガイドの摺動部
- ③ スライドレバーの摺動部
- ④ 切込みハンドルの摺動部



4 コンセントを確かめる

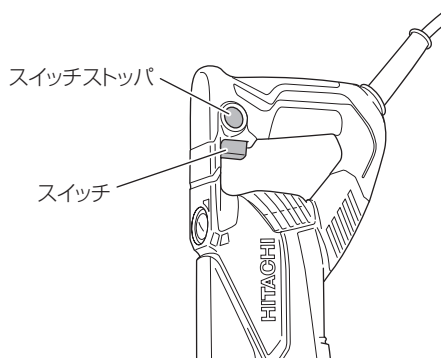
電源プラグをさし込んだとき、コンセントガタガタだったり、電源プラグが抜けるようだと修理が必要です。お近くの電気工事店にご相談ください。そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

スイッチの操作について

スイッチは、引くと入り、はなすと切れます。

スイッチを引いてからスイッチストップを押すと、指をはなしても入ったままになり、連続運転に便利です。

切るときは、再びスイッチを引いてからはなすとストップははずれます。



スライドテーブルの調整

【前後方向】

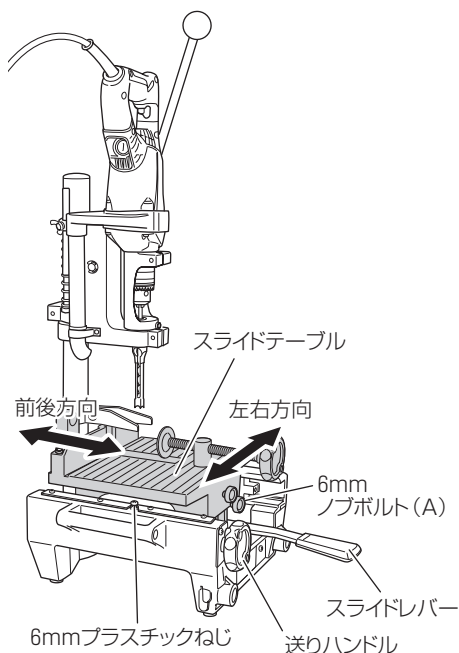
送りハンドルを回してスライドテーブルを前後方向に動かしたとき、がたつきがある場合は、ベース上面の6mmプラスチックねじを軽く締めます。

締め加減で送りハンドルを回す重さが変わりますので、調整してください。

【左右方向】

スライドレバーでスライドテーブルを左右方向に動かすとき、動きをきつめにしたときは、6mmノブボルト(A)の締め加減で調整します。

スライドテーブルの左右方向の動きを固定したいときは、6mmノブボルト(A)を強く締めます。



角のみ、キリの取付け・取りはずし

警告

工具の取付け・取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

取付け

1 手でヘッドを保持し、もう一方の手でクランプスクリュを左に回してゆるめ、ヘッド上端がコラム上端とほぼ一致する位置まで、ゆっくりと引き上げます。

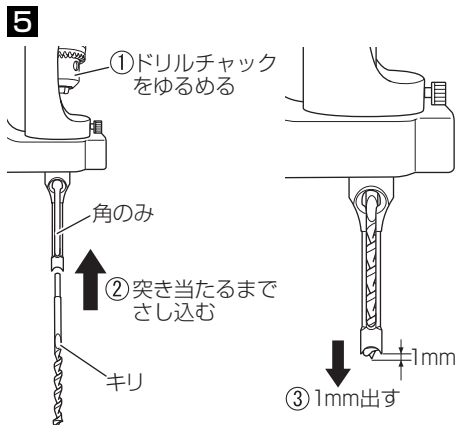
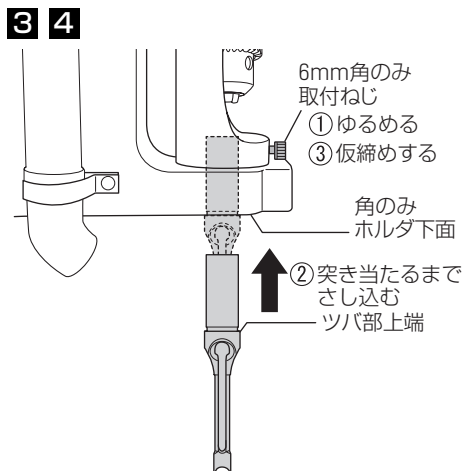
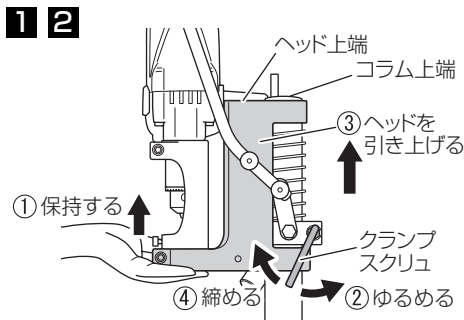
2 クランプスクリュを右に回して締付け、ヘッドを固定します。

3 付属の六角棒スパナを使用して6mm角のみ取付ねじをゆるめ、角のみのツバ部上端が角のみホルダ下面に突き当たるまでさし込みます。

4 角のみが落ちないように6mm角のみ取付ねじを仮締めしておきます。

5 ドリルチャックを十分ゆるめて、キリを角のみに下側から通し、角のみの内面に突き当たるまでさし込みます。その位置から、キリを下側に1mmずらします。

注 角のみやキリを誤って落下させ、先端を破損しないように、布などで先端を保護して作業してください。



6 角のみ胴体上部の穴を使用して、手でキリを押さえます。

8 mm以下の角のみは、両側にある穴を利用してキリを保持します。

9.5 mm以上の角のみは、キリにある面取り部を押さえて保持します。

7 手でキリを押さえた状態で、ドリルチャックを矢印の方向に回し、手で軽く締めます。

8 付属のチャックハンドルを使って、ドリルチャックの3つの穴を利用して、順次均等に締付けます。右に回せば締め、左に回せば緩みます。

注 ドリルチャックは順次均等に締付けてください。

均等でないと、角のみとキリ先とのすきまが偏り、金属音がしたり、故障や破損の原因になります。

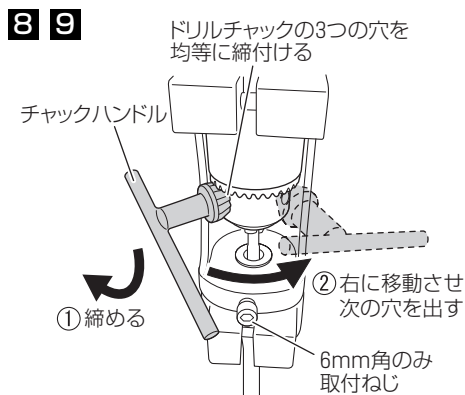
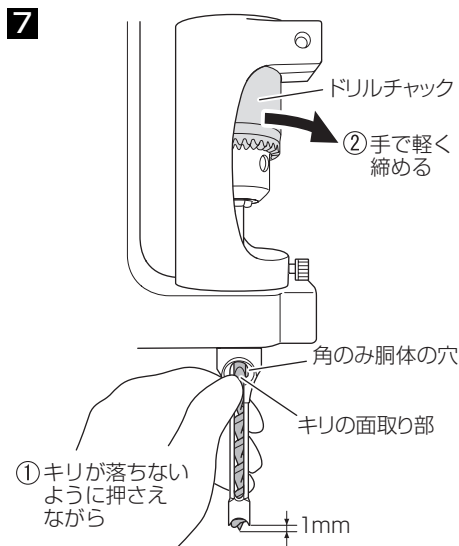
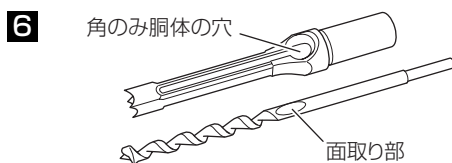
9 切込みハンドルを操作し角のみを下げ、送りハンドルとスライドレバーで木材を移動し、穴あけするスミ線の位置を角のみに合わせます。(P 19「角のみのケガキ線合わせをする」参照)

6 mm角のみ取付ねじを付属の六角棒スパンで締め付けて、確実に固定します。

取りはずし

1 角のみ胴体の穴から手でキリを押さえ、付属のチャックハンドルでドリルチャックをゆるめます。

2 6 mm角のみ取付ねじを付属の六角棒スパンでゆるめ、角のみとキリを一体で取りはずします。



警告

必ず角のみ胴体の穴からキリを押さえ、取りはずしてください。

キリを押さえないでドリルチャックをゆるめると、キリが落下し、けがの原因になります。

角穴をあける

●角穴、ほぞ穴、欠き込み加工など

警告

工具の取付け・取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

1 スイッチが切れていることを確かめる

- スイッチが入っているのを知らずに、電源プラグをコンセントにさし込むと、不意に動き思わぬけがの原因になります。
- スイッチストッパが押されたままになっていないか、一度スイッチを引く、はなしたときスイッチが戻ることを必ず確認してください。(P 12「スイッチの操作」参照)

2 角のみ・キリを取付ける

(P 15「角のみ、キリの取付け・取りはずし」参照)

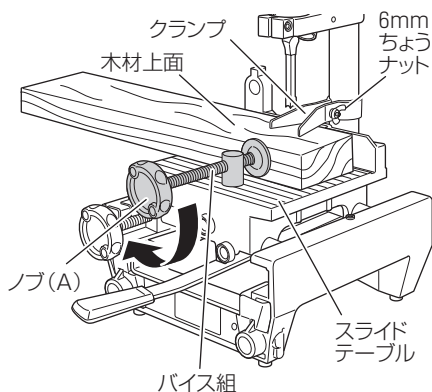
取付けてあるときは、角のみとキリの取付ねじ、ドリルチャックがゆるんでいないか点検してください。

注 ゆるんでいるときは、角のみ取付ねじとキリの取付ねじを付属の六角棒スパナ、ドリルチャックを付属のチャックハンドルで確実に締付けてください。

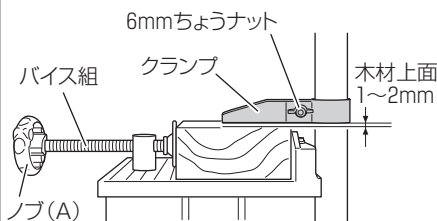
注 木材の厚さが 45 mm (1 寸 5 分) 以下の場合、クランプでの木材の浮き上がりを防止できませんので、バイス組を上下方向に取付けてご使用ください。
(取付方法は、P 20「幅広材への穴あけ」参照)

3 木材を取付ける

木材をスライドテーブルの上に置き、バイス組のノブ(A)を右に回して、スライドテーブルに固定します。



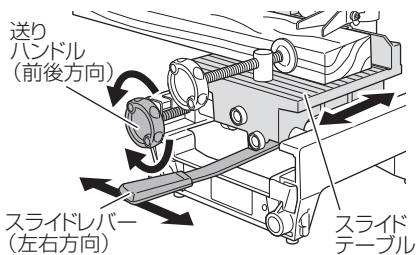
木材の浮き上がりを防止するため、クランプを木材上面から 1 ~ 2 mm 上の位置に 6 mm ちょうナットで固定します。



4

木材の位置調整をする

送りハンドルを矢印方向に回すと、前後方向に移動します。
 スライドレバーを矢印方向に動かすと、左右方向に移動します。

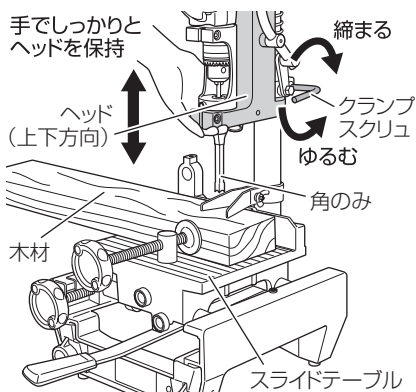


5

ヘッドの位置決めをする

ヘッドを片手で保持しながらクランプスクリュを左に回してゆるめ、ヘッドを上下方向に移動して、角のみ先端と木材上面のすきまを調整します。

注 調整の際、すきまを大きくすると切込み深さが小さくなるので作業に合わせて調整してください。
 (「穴あけ深さの調整をする」参照)



調整後、ヘッドの向きをスライドテーブルとほぼ直角にし、クランプスクリュを右に回してヘッドを固定します。

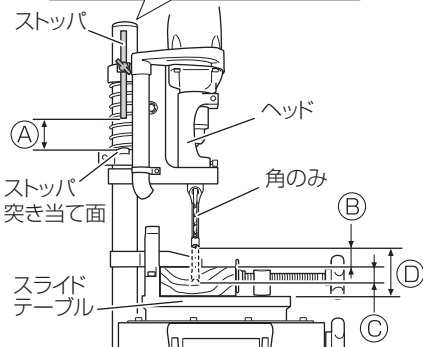
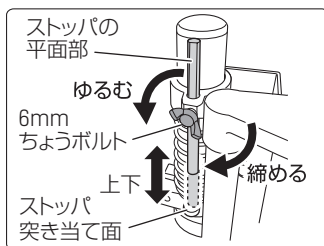
注意

ストップの調整は確実にしてください。スライドテーブル面と角のみ先端までの寸法 **Ⓐ** が、ヘッドの移動調整寸法 **Ⓐ** より小さくなりますと、穴あけ時角のみでスライドテーブル面を傷付けることがあります。

6

穴あけ深さの調整をする

6 mm ちょうボルトをゆるめてストップを上下に動かし、お望みの深さのところへストップを移動します。



ストップの平面部を 6 mm ちょうボルトで押すようにして締付け、ストップを固定します。

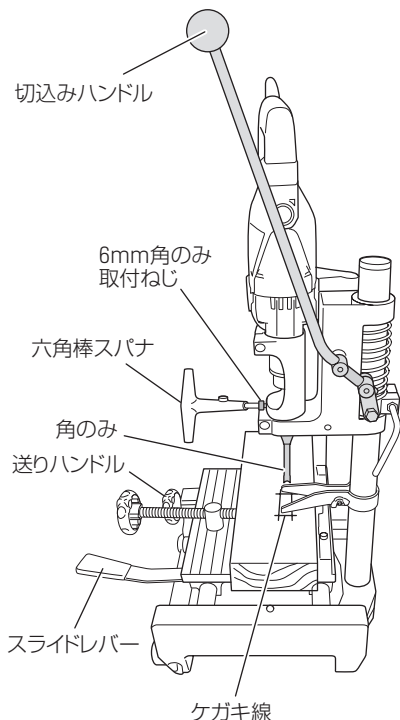
加工深さ **Ⓒ** はヘッドの移動調整寸法 **Ⓐ** から木材上面と角のみ先端までのすきま **Ⓑ** を引いた数値となります。作業に合わせて **Ⓐ**、**Ⓑ** 寸法を調整してください。

7

角のみのケガキ線合わせをする

切込みハンドルを操作して角のみを下げ、ケガキ線と角のみの位置関係がよくわかるようにしておきます。

送りハンドルとスライドレバーで木材を移動して、穴あけするケガキ線の位置を角のみに合わせます。



6 mm 角のみ取付ねじを付属の六角棒スパナでゆるめて、ケガキ線に角のみの側面を正しく合わせます。

角のみのつば部上端が角のみホルダ下面に突き当たるよう手で角のみをさし込みながら、6 mm 角のみ取付ねじを付属の六角棒スパナで締付けて、確実に角のみを固定します。

8

電源プラグをコンセントにさし込む

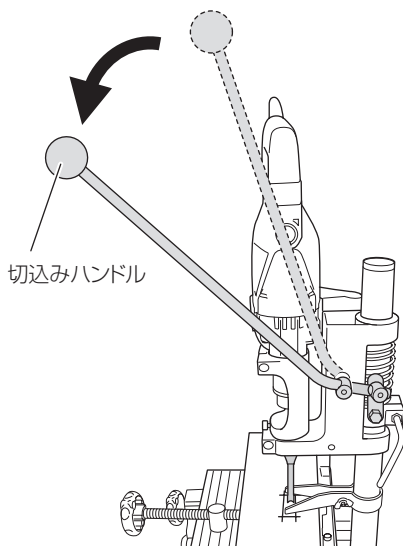
⚠ 注意

- 穴あけの始めは、ゆっくりと角のみを切込みます。始めから速く切込み、大きな力を加えますと、穴が曲がったり、穴の縁が欠けることがあります。
- 節のある所や、堅い木を加工するときは、無理な力をかけないようにしてください。無理をしますと、穴が曲がったり、角のみが破損したりすることがあります。

9

スイッチを入れ、穴をあける

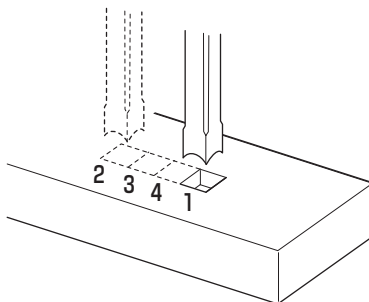
切込みハンドルを矢印方向に動かして穴をあけます。



●長方形の穴あけの場合

ホゾ穴など長方形の穴あけの場合は、両端からあけていきますと正確な穴をあけることができます。

最初に1、2をあけ、中の部分3、4は後であけます。



●幅広材への穴あけの場合

注 上方向から固定できる幅広材の厚さは45mm(1寸5分)以下です。

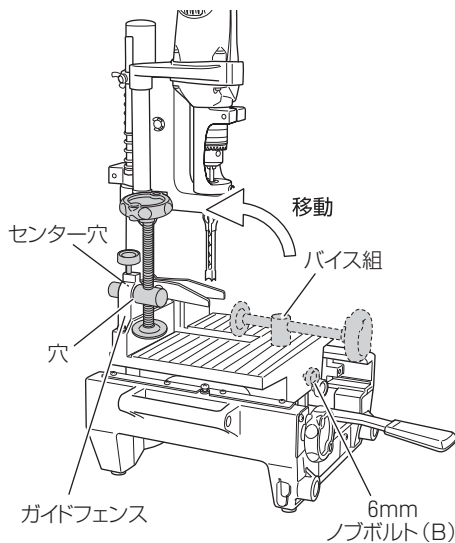
木材の幅が125mm(4寸)を超えるような幅広材では、前後方向からの木材の固定できません。

バイス組、6mmノブボルト(B)をガイドフェンス側に移動し、上方向から木材を固定してください。

上方向からのバイス固定のしかた

バイス組をガイドフェンスに取付けるときは、

- ①ガイドフェンスに設けた穴にバイス組を奥一杯まで入れます。
- ②バイス組のセンター穴に6mmノブボルト(B)が入るように調整し、締付けます。



ボール盤として穴をあける

●木材の穴あけ ●木材の座掘り

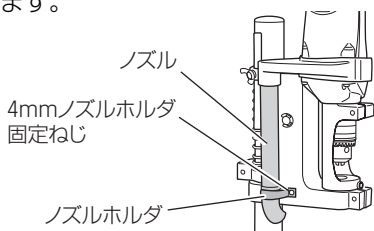
本製品は、造作角のみから角のみ用の部品をはずして、木工用ボール盤としても使用できます。

1 角のみ本体から角のみ組を取りはずす

P 15「角のみ、キリの取付け・取りはずし」参照)

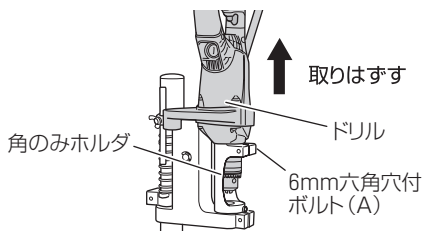
2 ノズル、ノズルホルダを一体で取りはずす

4 mm ノズルホルダ固定ねじをはずし、ノズル、ノズルホルダを一体ではずします。



3 ドリルを角のみホルダから取りはずす

6 mm六角穴付ボルト (A) を付属の六角棒スパナでゆるめ、ドリルを角のみホルダからはずします。

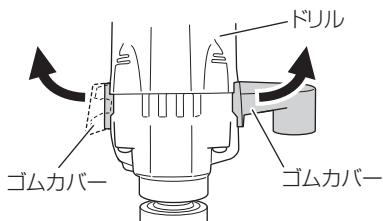


警告

工具の取付け・取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

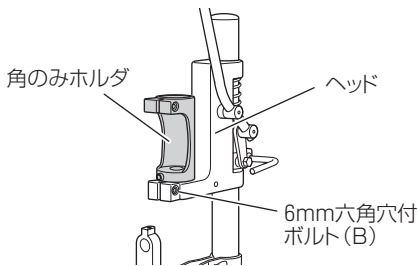
4 ドリルのゴムカバーを取りはずす

ドリルの風窓部に取付けてあるゴムカバーをはずします。
ゴムカバーの端部を持ち、矢印方向へ軽く引張りはずします。



5 角のみホルダをヘッドから取りはずす

6 mm六角穴付ボルト (B) を付属の六角棒スパナでゆるめ、角のみホルダをヘッドからはずします。

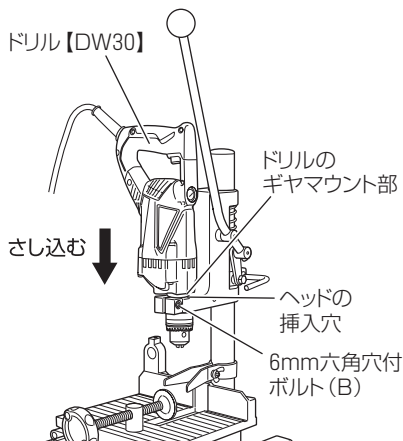


6

ドリル本体をヘッドに 取付ける

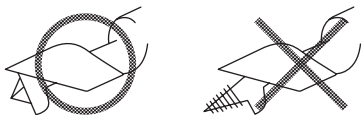
右図のように、ドリルのギヤカバマウント部をヘッドの挿入穴にしっかりとさし込みます。

6 mm 六角穴付ボルト (B) を付属の六角棒スパナで締付け、ドリル本体を固定します。



⚠ 警告

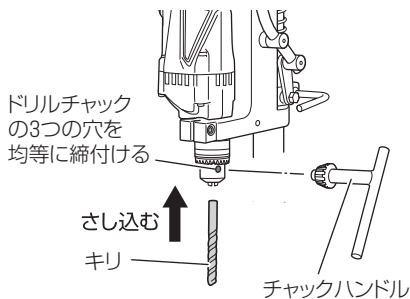
キリは先三角品を使用してください。誤って先ねじ品を使用しますと、切削時ねじのリードで木材にくい込み、切込みレバーが引き込まれ、けがの原因になります。



7

キリ (別売) を取付ける

キリは付属のチャックハンドルで、ドリルチャックの3つの穴へ順々に入れて均等に締付け、取付けます。

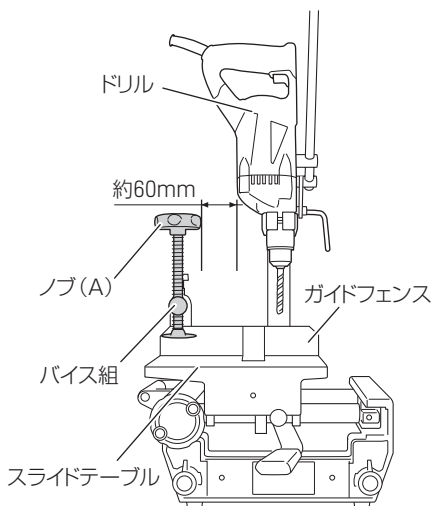


8

丸穴をあける

P 17「角穴をあける」を参照し、作業してください。

注 バイス組をガイドフェンス側に取付けた場合、スライドテーブルの左右の移動量はバイス組のノブ(A)とドリル本体が当たるため、約 60 mm と小さくなります。



木工用電気ドリルとして穴をあける

●木材の穴あけ ●金属の穴あけ

本製品は、造作角のみからドリルをはずして、木工用電気ドリルとしても使用できます。

⚠ 警告

工具の取付け・取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●造作角のみからドリル【DW 30】を取りはずす

P 21「ボール盤として穴をあける」の①～④を参照して、ドリルを造作角のみから取りはずします。

●サイドハンドルの取付け方

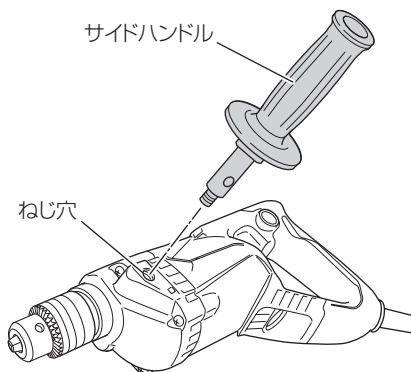
⚠ 警告

サイドハンドルを十分に締付けてください。

締付けがゆるいと作業時の反力を受けきれず、けがの原因になります。

ギヤカバーにサイドハンドルを取付けるためのねじ穴があります。

サイドハンドルをしっかりとねじ込んでください。



●キリの取付け・取りはずし

⚠ 警告

キリの取付け、取りはずしの際は、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

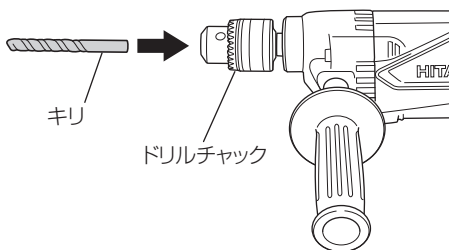
⚠ 注意

取付け、取りはずしの際は、キリで手を傷つけないよう十分注意してください。

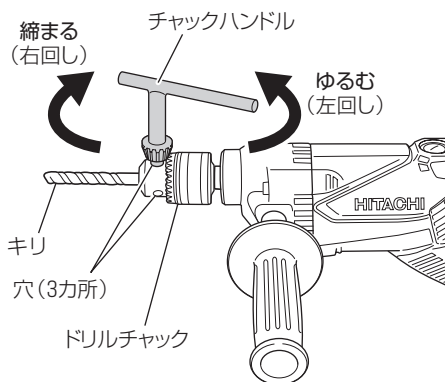
キリは別売です。穴あけの用途に合ったキリを選んでください。

- 木材の穴あけ……………木工キリ
- 金属の穴あけ……………鉄工キリ

1 ドリルチャック先端の穴に、ドリルを奥までさし込みます。



2 ドリルチャック外周の3カ所の穴にチャックハンドルを順番に入れて矢印の「締まる」方向に回し、キリを軽く締付けていきます。最後に3カ所とも均等の力でしっかりと締付け、キリを確実に固定してください。



3 キリを取りはずすときは、矢印の「ゆるむ」方向にチャックハンドルを回します。

●穴をあける

⚠ 警告

- キリの取付けや取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用中、振り回されないように、機体をしっかり握って作業してください。

1 キリを取付ける

(P24「キリの取付け・取りはずし」参照)

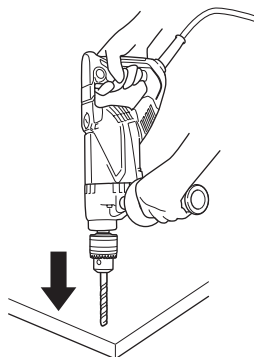
2 スイッチが切れていることを確かめる

- スイッチが入っているのを知らずに、電源プラグをコンセントにさし込むと、不意に動き思わぬけがの原因になります。
- スイッチストッパが押されたままになっていないか、一度スイッチを引き、はなしたときスイッチが戻ることを必ず確認してください。(P14「スイッチの操作」参照)

3 電源プラグをコンセントにさし込む

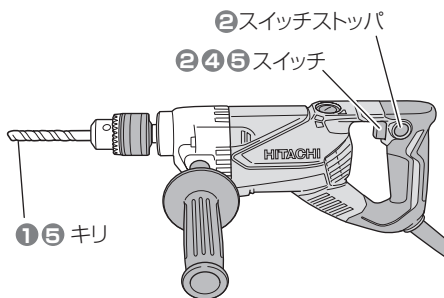
4 スイッチを入れる

キリの先を穴あけ位置に当て、スイッチを引き、まっすぐに押しつけます。ハンドルを両手でしっかり持って、スイッチを引いてください。



5 材料からキリを抜く

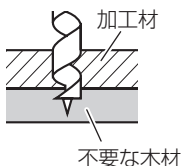
スイッチを入れたまま(回転したまま)、キリを引き抜いてください。



●木材にきれいな穴をあける

不要な木材を下に敷き、 加工材と一緒にあける

木工キリが裏側へ突きぬけるときに発生するバリを防ぐことができます。



または

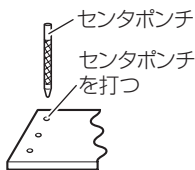
木工キリの先が少し裏側に 出たときに、裏側から穴をあける



●金属へ上手に穴をあける

市販のセンタポンチを使用する

鉄工キリの先がすべらず、決まった位置に穴あけができます。



さらに

鉄工キリの先に機械油か 石けん水を付ける

穴があけやすくなります。

注 金属に穴をあける場合、穴の抜けぎわに大きな力がかかり、キリがドリルチャックからすべることがあります。このような場合は、工具本体の押しつけ力を弱め、キリがすべらないようにしてください。

保守・点検

⚠ 警告

点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●キリや角のみの点検

キリや角のみの切れ味が悪くなったまま使用すると、モーターに無理がかかり、作業の能率も落ちますので、早めに刃とぎを行うか、新品と交換してください。

注 本機の角のみは「日立電気大工用」とご用命の上お買い求めください。市販品と寸法が異なり、軸の太さが細くなっています。

●機体はきれいに

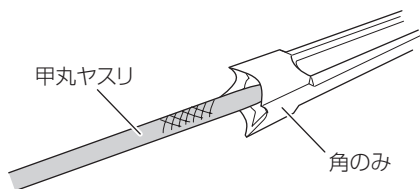
石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●刃のとぎ出し

刃は木材の種類によってとぎ直しまでの時間が違いますが、約500個穴をあけたら、以下の要領で刃とぎをしてください。

角のみ

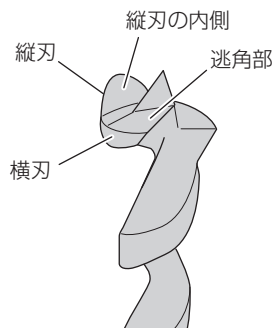
内側を甲丸ヤスリの細目のものでとぎ、最後に外側の返りを静かに取除きます。



キリ

縦刃では内側部を、横刃では逃げ角部を細目の平ヤスリかサンドペーパーで原形を保つようにしてといでください。

極端に外周が摩耗すると、穴あけに大きな力が必要となるので、早めに新品と交換してください。



●取付ねじの点検

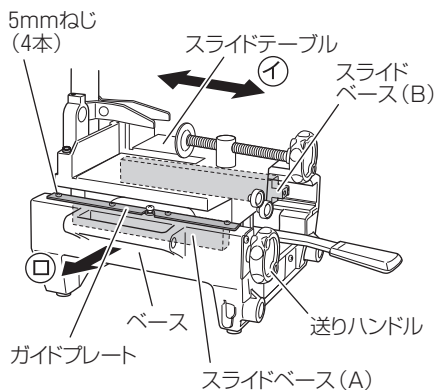
時々点検して、ゆるんでいたら、締め直してください。

そのまま使用すると危険です。

送りハンドルを回してスライドテーブルを矢印①の方向へ前後に移動する際に、右図のようにスライドベース(A)が先に動き、スライドベース(B)が後から動き出す場合は、以下の様に調整してください。

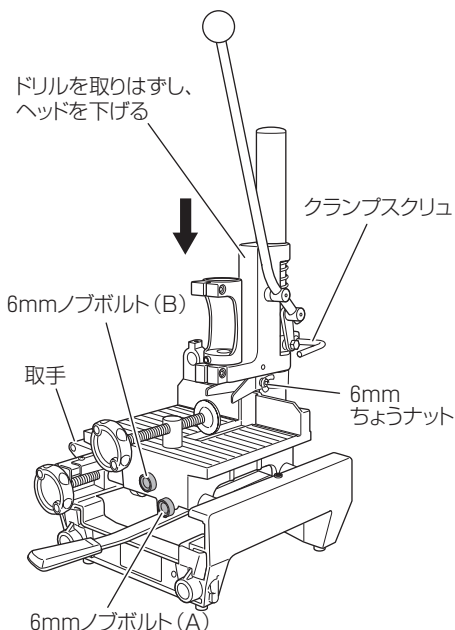
- ① 5mmねじ(4本)をゆるめ、
- ② ガイドプレート(□)の方向に手で押しながら、締め直してください。

注 ベースとスライドベース(A)およびガイドプレート(□)の間のすきまが大きいと、穴あけ精度が悪くなります。



●機体の運搬

可動部のねじをよく締めて、動かないよう固定してから、運搬してください。



●製品や付属品の保管

機体や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

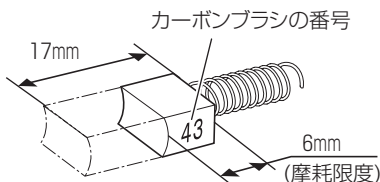
- 注**
- ・ お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
 - ・ 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
 - ・ 温度が急変する場所には保管しない。
 - ・ 直射日光の当たる場所には保管しない。
 - ・ 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

●カーボンブラシの点検と交換

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度（6mm ぐらい）になりましたら新品と交換してください。

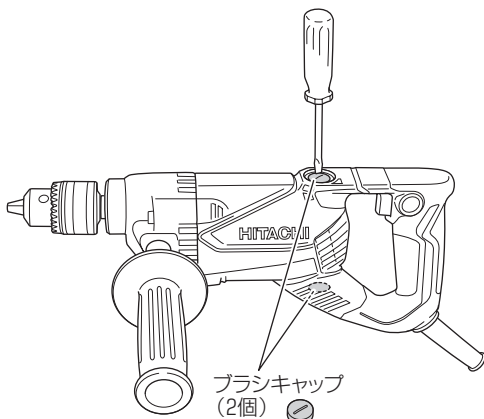
また、カーボンブラシは、ごみなどを取除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしてください。

注 新品のカーボンブラシと交換の際は必ず図示の番号（43）の日立カーボンブラシを使用してください。



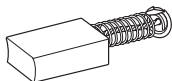
1 古いカーボンブラシを 取出す

マイナスドライバーなどでブラシキャップをはずして、古いカーボンブラシを取出します。



2 新しいカーボンブラシを 取付ける

ブラシホルダの角穴に合わせてカーボンブラシを指で押し込みます。



3 ブラシキャップを 取付ける

ブラシキャップでカーボンブラシを押しさえ込みながら、マイナスドライバーなどで時計方向に回して締付けます。

ご修理のときは

この製品は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自身で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは、下記の全国営業拠点にご相談ください。また、部品ご購入の場合や取扱いでお困りの点などについても、ご遠慮なくお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号(NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

■ 日立工機電動工具センターへのご用命は、下記の営業拠点にお問い合わせください。

北海道支店 TEL (011) 896-1740 (代) 〒004-0053 札幌市厚別区厚別中央3条1丁目2番20号

東北支店 TEL (022) 288-8676 (代) 〒984-0002 仙台市若林区卸町東3丁目3番36号

関東支店 TEL (03) 5733-0255 (代) 〒105-0011 港区芝公園1丁目8番12号

中部支店 TEL (052) 533-0231 (代) 〒451-0051 名古屋市西区則武新町1丁目32番16号

北陸支店 TEL (076) 263-4311 (代) 〒920-0058 金沢市示野中町1丁目163番

関西支店 TEL (0798) 37-2665 (代) 〒663-8243 西宮市津門大筒町10番20号

中国支店 TEL (082) 504-8282 (代) 〒730-0826 広島市中区南吉島2丁目3番7号

四国支店 TEL (087) 863-6761 (代) 〒760-0078 高松市今里町1丁目28番14号

九州支店 TEL (092) 621-5772 (代) 〒813-0062 福岡市東区松島4丁目8番5号

「電動工具お客様相談センター」



0120-208822 (フリーダイヤル・無料)

※携帯電話からはご利用になれません。

(土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00)

電動工具ホームページ—<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>



〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

308

部品コード H99306005 N